

八田中学校ブロック「学びあい」レインボープランⅡ

授業づくり 3つのPoint



資質・能力の育成

- ☆ 生きて働く知識・技能の習得
- ☆ 思考力・判断力・表現力等の育成
- ☆ 学びに向かう力・人間性の涵養

☆主体的な学び

学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。

☆対話的な学び

子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手がかりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。

☆深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容を深く理解する。

Point1 導入の工夫

- 子どもの知的好奇心を掻き立てる導入(子どもが学びたいと思う導入)
おもしろそう!楽しそう!なぜ?どうして?どっちなんだろう?
- 子どもが主体的に学ぶことのできるめあての設定
「~たい」の生まれる授業
はっきりさせたい・確かめたい・整理したい・簡単にしたい・見付けたい
探ってみたい・つくってみたい・比べてみたい・はかってみたい
調べてみたい・競争したい・チャレンジしたい……など
- 子どもが解決の見通しが持てる学習の流れの明示

やる気!

Point2 展開の工夫

- (1) 自力思考「まず自分で考えてみようとする力をつける」
 - 子どもが考えるための適切な教材・教具の工夫
 - 自分なりに考えたり、分かることや分からないことを明確にしたりする時間の確保
- (2) 学び合い「集団で学ぶよさを実感させる」
 - 目的や意図を明確にした学習形態の工夫(ペア・グループ・一斉)
 - 子どもの発言をつなぎ、関連付けながら話し合いを深める教師のコーディネート
※ ゆさぶる発問を効果的に使うことで、子どもの思考や認識に疑念を呈したり混乱を引き起こすことによってより確かな見方へと導いたりすることができる。
 - 思考を深める子どもの学習活動の保証
認めあい・聴きあい・伝えあい・助けあい・励ましあい・教えあい・響きあい・喜びあい・考えあい
話しあい・学びあい・深めあい・悩みあい・まとめあい・競いあい・高めあい・練りあい……など
- (3) 自力解決「学んだことを自分の学びとして整理し確認させる」

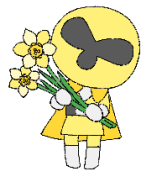


Point3 終末の工夫(振り返り)

- めあてに即した振り返り(1時間を貫く価値あるめあて・めあてへのこだわり)
- 振り返りの言語化による幼児・児童・生徒の自らの学びの自覚と自己の成長や変容への気付き
- 児童・生徒の振り返りから学習内容の定着の程度を把握
- 新たな気付き・次への意欲(学んだことを次の学習や生活に活かす)

根気!

学びの土台づくり 4つのPoint



Point4 学習規律の徹底

- はじめのあいさつと終わりのあいさつで学習スイッチをON!とOFF!
- 発表の際は、「挙手」と「返事」の指導を徹底

Point6 学びに向かう力の育成

- 授業と家庭学習をリンクさせる。授業←家庭学習
- 8コマ学習の充実(予習・復習・学んだことの深化・活用など)
- 自分で計画的に学習する力の育成



Point5 コミュニケーション能力の育成

- 場に応じた「話しあい」の仕方を幼児期から系統的に育成
- 話し方・聞き方・ルール、場に応じた声の大きさを幼児期から系統的に育成
※ まずは、人の話をしっかり聞くことから「話しあい」が始まる!



本気!

Point7 八田中ブロックの教職員の本気の指導!! こだわる5項目!

- ☆ 時間・提出期限を厳守する!
- ☆ 言葉遣いにこだわる(子どもも教師も)!
- ☆ ゴールを見据えた指導を行う!(なぜ学ぶのか?何のために学ぶのか?)→学びの地図を示す
- ☆ 確かな分析に基づいて具体的な対策や手立てを講じる!
- ☆ 幼小中のつなぎを意識した指導を行う!

生徒指導の3機能

授業の中で生徒指導の3つの機能を大切にする!

☆ 自己決定の場を与える ☆ 自己存在感を与える ☆ 共感的人間関係を育成する
これらの3つの機能は、綾部市の「『あい』のある学習」や「八田中ブロック『学びあい』レインボープランⅡ」の確かな実践を図ることで機能します。

7つのPointを意識した指導で、八田中ブロック教育目標「未来を切り拓く子どもの育成」の実現に向け「夢の架け橋」をかけましょう!